

2018年10月1日

研究機関 各位
研究者 各位

乳の学術連合

牛乳乳製品健康科学会議
乳の社会文化ネットワーク
牛乳食育研究会

一般社団法人 J ミルク

2019年度『乳の学術連合』学術研究公募のご案内

謹啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度『乳の学術連合』では、牛乳乳製品の価値向上に繋がるとともに乳を通じて社会に貢献するための多種多様な情報を広く収集・発信することを目的に、「2019年度『乳の学術連合』学術研究」として、一般社団法人 J ミルクと共同で、構成組織である「牛乳乳製品健康科学会議」「乳の社会文化ネットワーク」「牛乳食育研究会」の各分野に係る学術研究を下記の通り公募いたします。

つきましては、公募の趣旨および要領をご理解いただき、公募への積極的なご参加ならびに関係者各位に御承引いただきますようお願い申し上げます。

謹白

記

1. 2019年度『乳の学術連合』学術研究

組織	分野	研究対象
牛乳乳製品健康科学会議	「牛乳乳製品健康科学」	「牛乳乳製品の価値向上に繋がる医学・栄養学・食品科学・体育学等の分野の課題」に係る学術研究
乳の社会文化ネットワーク	「乳の社会文化」	「乳」に係る社会的・文化的な学術研究
牛乳食育研究会	「食と教育」	乳を活用した「食に係る教育の新たな知見」に関する学術研究

2. 募集（申請）期間

2018年10月1日（月）～2018年12月31日（月）

3. 学術研究公募内容

各分野の公募内容については、別紙1～3をご参照ください。

4. 同封物

- ①「牛乳乳製品健康科学」学術研究の公募チラシ（A4）
- ②「乳の社会文化」学術研究の公募チラシ（A4）
- ③「食と教育」学術研究の公募チラシ（A4）

5. お問い合わせ先等

詳しい内容は、次のWebサイトから学術研究実施要領をダウンロードしてご確認ください。

＜乳の学術連合「学術研究の公募」＞<http://m-alliance.j-milk.jp/koubo/2019/index.html>

＜乳の学術連合＞

我が国における牛乳乳製品の消費の維持・拡大及び酪農乳業と生活者との信頼関係の強化を図っていく観点から、牛乳乳製品の価値向上に繋がる多種多様な情報を「伝わり易く解かり易い表現」として開発し、業界関係者及び生活者に提供することを目的とした健康科学分野・社会文化分野・食育分野の専門家で構成する組織（※）の連合体です。（一般社団法人Jミルクの外部連携組織）

（※）健康科学分野の組織＝「牛乳乳製品健康科学会議」

社会文化分野の組織＝「乳の社会文化ネットワーク」

食育分野の組織＝「牛乳食育研究会」

＜事務局・お問い合わせ先＞

〒104-0045 東京都中央区築地4丁目7番1号 築地三井ビル5階
一般社団法人Jミルク内 『乳の学術連合』事務局 担当：池上秀二
電話：03-6226-6352 FAX：03-6226-6354 E-mail：s-ikegami@j-milk.jp

以上

別紙 1

◆「牛乳乳製品健康科学」学術研究の公募について（牛乳乳製品健康科学会議）

「牛乳乳製品の価値向上に繋がる医学・栄養学・食品科学・体育学等の分野の課題」に係る学術研究

1. 募集（申請）期間

2018年10月1日（月）～2018年12月31日（月）

2. 募集テーマ・内容

研究テーマ	内容
① 牛乳乳製品が免疫機能に及ぼす影響に関する研究	牛乳乳製品あるいはその成分の免疫機能に及ぼす影響に関する基礎的・臨床的研究。特に、今回は下記2テーマを重点課題として取り上げる ●牛乳乳製品あるいはその成分が腸管のバリア機能・炎症に及ぼす影響に関する基礎的・臨床的研究 ●牛乳アレルギーの予防・改善に関するこれまでの臨床的研究を体系的に整理し、ガイドライン作成に寄与する実践的研究 キーワード：腸管バリア機能、腸内環境、抗炎症、アレルギー、免疫機能調節、免疫指標、自然免疫、免疫寛容、免疫不全、感染防御
② 牛乳乳製品が加齢に伴う栄養代謝に及ぼす影響に関する研究	低栄養（フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドローム）、過栄養（肥満、メタボリックシンドローム、糖尿病）、高齢者に特異的な疾患（認知症など）に関する疫学研究、基礎研究、介入研究 特に、今回は下記2テーマについて重点課題として取り上げる ●牛乳・乳製品摂取による内分泌系への影響とサルコペニアとの関連性 ●牛乳・乳製品の摂取が運動による代謝マーカーの変化に及ぼす影響 キーワード：フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドローム、肥満、メタボリックシンドローム、糖尿病、マイオカイン
③ 牛乳乳製品に関わる新規探索研究	牛乳乳製品の価値向上につながる牛乳乳製品が健康に及ぼす影響に関する基礎的、臨床的新規探索研究

3. 研究採用数

上記2をテーマとする研究計画の応募申請の中から10件程度を採用する。

4. 応募資格

国内の大学及び短期大学、専修学校、国・地方公共団体の設置する研究所、独立行政法人の研究機関等で学術研究を行っている研究者等（大学院生含む）、またはこれに付随する研究を行っている個人の研究者等とする。

5. 委託研究期間

原則として1年を超えないものとする。ただし、研究の内容によっては、最長3年間とするが、1

年以上の期間の研究を申請する場合は、全期間にわたる研究計画・支出計画を申請書に明確に記すこと。なお、年度ごとに中間報告を行い、成果が認められない場合は、研究委託を中止する場合がある。

6. 委託研究費

年間1件当たり原則として150万円（消費税込）以内とする。なお、複数年度の研究においては、研究年度×年間委託研究費を上限額とする。

7. 選考方法

「健康科学会議」学術研究選考委員会が、必要に応じて各分野の専門家の意見を参考とし、審議決定する。

<選考委員会>

委員長	折茂 肇 (公益社団法人骨粗鬆症財団 理事長)
委員	上西 一弘 (女子栄養大学栄養学部栄養基礎栄養生理学研究室教授)
委員	岡山 明 (一般社団法人 適塩・血圧対策推進協会 代表理事)
委員	大日向 耕作 (京都大学大学院農学研究科 准教授)
委員	小川 純人 (東京大学大学院医学系研究科加齢医学 准教授)
委員	川原 貴 (一般社団法人日本臨床スポーツ医学会 理事長)
委員	桑田 有 (人間総合科学大学大学院 教授)
委員	齋藤 忠夫 (東北大学名誉教授)
委員	清水 誠 (東京農業大学応用生命科学部栄養学科 教授)
委員	下条 直樹 (千葉大学大学院医学研究科小児病態学 教授)
委員	中村 丁次 (神奈川県立保健福祉大学 学長)

8. お問い合わせ先等

詳しい内容は、次のWebサイトから学術研究実施要領をダウンロードしてご確認ください。

<乳の学術連合「学術研究の公募」><http://m-alliance.j-milk.jp/koubo/2019/index.html>

<牛乳乳製品健康科学会議>

牛乳乳製品の栄養健康機能に係る学術的エビデンスを研究検証し、研究活動を通じて日本人の健康増進に貢献することを目的として、平成24年3月に設立した健康科学分野の研究者で組織される一般社団法人Jミルクの外部連携組織。

代表幹事 折茂肇 (骨粗鬆症財団 理事長)

<事務局・お問い合わせ先>

〒104-0045 東京都中央区築地4丁目7番地1号 築地三井ビル5階
一般社団法人Jミルク内「牛乳乳製品健康科学会議」事務局 担当：池上 秀二
電話：03-6226-6352 FAX：03-6226-6354 E-mail：s-ikegami@j-milk.jp

別紙 2

◆「乳の社会文化」学術研究の公募について（乳の社会文化ネットワーク）

日本における乳の生産・利用の特質とその形成過程や持続可能性、乳の価値創造活動など「乳」に係る社会的・文化的な学術研究

1. 募集（申請）期間

2018年10月1日（月）～2018年12月31日（月）

2. 募集テーマ・内容

(1) 特定研究

No.	テーマ	内容
①	牛乳乳製品のマーケティング	牛乳乳製品の価値創造に通じるマーケティング研究。例えば、コミュニケーション革新、流通チャネル革新、プライシングに関する研究など
②	牛乳乳製品の食生活への受容	牛乳乳製品の食生活への受容の歴史、受容の現状と課題、「美味しさ」の感情や記憶の創出に関する研究など
③	次世代酪農の可能性	酪農の持続可能性を探るための社会的・文化的な研究。例えば、酪農生産、フードチェーン、制度・政策、評価手法に関する研究など
④	持続可能な開発目標（SDGs）の達成への日本酪農の貢献	SDGsの達成に向けて、日本の酪農（特に乳の生産と利用）が強化すべき機能、改善すべき課題、新たに取り組むべき課題についての研究

(2) 一般研究

No.	テーマ	内容
⑤	乳及び酪農乳業に関する社会的・文化的視点からの研究	牛乳乳製品の食文化的意義、酪農乳業の歴史及び社会経済的な意義に関する研究など

注) 「牛乳」「乳」とは、食品としての牛乳乳製品を意味する。（「乳」にはヤギ乳・ヒツジ乳を含む）

3. 研究採用数

上記2（1）、（2）をテーマとする研究計画の応募申請の中から8件程度を採用する。

4. 応募資格

国内の大学及び短期大学、専修学校、国・地方公共団体の設置する研究所、独立行政法人の研究機関等で研究を行う研究者等（大学院生を含む）もしくは特定の機関等に属さない個人研究者とする。

5. 委託研究期間

同一研究計画に対する委託期間は、原則として1年を超えないものとする。なお、研究成果を踏まえ研究の継続を希望する場合は、改めて本学術研究への応募申請を行うことができる。ただし、やむを得ぬ事情がある場合には、審査委員会の審査を経て、委託期間の延長を認めることができる。

6. 委託研究費

年間1件当たり原則として70万円（消費税込）以内とする。ただし、海外渡航調査など多額な費用が含まれる場合、100万円（消費税込）以内とする。

7. 選考方法

「乳の社会文化」学術研究審査委員会が、必要に応じ各分野の専門家の意見を参考とし、決定する。

＜審査委員会＞

委員長	生源寺 眞一（福島大学農学系教育研究組織設置準備室 教授）
副委員長	小長谷 有紀（国立民族学博物館超域フィールド科学研究部 教授）
委員	阿久澤 良造（日本獣医生命科学大学 学長）
委員	上田 隆穂（学習院大学経済学部経営学科 教授）
委員	鶴川 洋樹（秋田県立大学生物資源科学部アグリビジネス科 教授）
委員	江原 絢子（東京家政学院大学 名誉教授）
委員	大江 靖雄（千葉大学大学院園芸学研究科 教授）
委員	小川 美香子（東京海洋大学学術研究院 准教授）
委員	小林 信一（日本大学生物資源科学部動物資源科学科 教授）
委員	前田 浩史（一般社団法人Jミルク 専務理事）
委員	南山 宏之（株式会社アクサム 代表取締役／ディレクター）
委員	和仁 皓明（西日本食文化研究会 主宰）

8. お問い合わせ先等

詳しい内容は、次のWebサイトから学術研究実施要領をダウンロードしてご確認ください。

＜乳の学術連合「学術研究の公募」＞<http://m-alliance.j-milk.jp/koubo/2019/index.html>

＜乳の社会文化ネットワーク＞

乳の利用と酪農乳業の発展に関する社会的文化的な研究を通して、わが国乳文化の創造に積極的に貢献することを目的とする一般社団法人Jミルクの外部連携組織。平成24年4月設立。
代表幹事 生源寺 眞一（福島大学農学系教育研究組織設置準備室 教授）

＜事務局・お問い合わせ先＞

〒104-0045 東京都中央区築地4丁目7番地1号 築地三井ビル5階
一般社団法人Jミルク内「乳の社会文化ネットワーク」事務局 担当：細谷 知広
電話：03-6226-6352 FAX：03-6226-6354 E-mail：t-hosoya@j-milk.jp

別紙 3

◆「食と教育」学術研究の公募について（牛乳食育研究会）

乳を活用した「食に係る教育の新たな知見」に関する学術研究

1. 募集（申請）期間

2018年10月1日（月）～2018年12月31日（月）

2. 募集テーマ

(1) 特定研究

No	テーマ	備考
①	「乳」に係る教育プログラムの開発と検証研究	キーワード：ヘルスリテラシー、食文化、乳特有の教育的価値
②	「乳」の生産・製造・流通等に係る教育的プログラムの開発と検証研究	キーワード：牧場の多面的な機能、牛乳工場の製造工程における工夫、牛乳のサプライチェーン特性
③	「乳」の持続可能な開発目標（SDGs）に係る教育的プログラム開発と検証研究	キーワード：社会、経済、環境、栄養
④	「乳」の学校給食における現代的意義に関する研究	キーワード：栄養バランス、子どもの貧困、学校給食経営

(2) 一般研究

No	テーマ	備考
⑤	「乳」に関する教育的視点からの研究	補足：「特定研究」以外のテーマで学校・園（幼・保、小・中・高・大）、家庭、地域、社会、企業などにおける教育の場を活用した研究。 ※教育目的以外のマーケティングコミュニケーションは除く

なお、全てのテーマは「乳」に係る研究であり、「乳」とは、「食品としての牛乳乳製品やそれを生産流通する産業としての酪農や乳業など」である。また、「教育」とは、学校教育、家庭教育、社会教育などである。

3. 研究採用数

上記をテーマとする研究計画の応募申請の中から4.応募資格に記載のある8件程度を採用し委託する。

4. 応募資格

国内の大学及び短期大学、専修学校、国・地方公共団体の設置する研究所、独立行政法人の研究機関等で学術研究を行っている研究者等（大学院生含む）、またはこれに付随する研究を行っている個人の研究者等とする。

5. 委託研究期間

同一調査・研究課題に対する委託期間は、1年単位とし、原則として1年とする。ただし、研究テーマによって複数年の研究が必要な場合は、その限りではない。申請書に全体の研究計画の概要の他、各年の研究計画の概要がわかるよう記載すること。なお、複数年の場合には収支及び研究の中間報告を毎年実施する。

6. 委託研究費

年間1件当たり原則として70万円(消費税込)以内とする。ただし、海外渡航調査など多額な費用が含まれる場合、100万円(消費税込)以内とする。

7. 選考方法

「食と教育」評価委員会が、必要に応じて各分野の専門家の意見を参考とし、審議決定する。

評価委員<審査委員会>

委員長	角屋 重樹 (日本体育大学教育研究科 研究科長)
副委員長	鈴木 由美子 (広島大学大学院教育学研究科 教授)
委員	石井 雅幸 (大妻女子大学家政学部児童学科 教授)
委員	木下 博義 (広島大学大学院教育学研究科 准教授)
委員	木村 純子 (法政大学経営学部 教授)
委員	児玉 浩子 (帝京平成大学健康メディカル学部健康栄養学科 教授・学科長)
委員	田中 博之 (早稲田大学教職大学院 教授)

8. お問い合わせ先等

詳しい内容は、次のWebサイトから学術研究実施要領をダウンロードしてご確認ください。

<乳の学術連合「学術研究の公募」><http://m-alliance.j-milk.jp/koubo/2019/index.html>

<牛乳食育研究会>

乳の特徴を活用した食と教育の研究活動を通して、豊かな食体験及び総合的な食知識の習得、食に対する健全な態度の育成及び適切な食選択能力の向上などの教育的な取り組みをもって、生活者が生涯を通じて心豊かで健康的な生活を実現することに貢献することを目的とする一般社団法人Jミルクの外部連携組織。平成24年10月設立。

代表幹事 角屋重樹 (日本体育大学教育研究科 研究科長)

<事務局・お問い合わせ先>

〒104-0045 東京都中央区築地4丁目7番地1号 築地三井ビル5階
一般社団法人Jミルク内「牛乳食育研究会」事務局 担当：前 いずみ
電話：03-6226-6352 FAX：03-6226-6354 E-mail：mae@j-milk.jp